

沿岸域における魚種変動に関する定点調査

(沿岸漁場開発調査)

田中伸和・沖野 晃・藤川裕司

1. 研究目的

重要魚種の資源変動を予測する技術開発の基礎資料および生物環境のモニタリング資料とするため、特定海域における魚種組成の長期変動を調査する。

2. 研究方法

江津市敬川町地先沖の水深 100m、80m、60m に定線を設定し、試験船「明風」により毎月トロール網の操業を行った。ただし、4月は60mを、12月と1月は80mを、2月と3月は全定線を欠測した。曳網時間は推進60mは15～20分、水深80mと100mは1時間である。あわせて、各操業点においてSTD（アレック電子）により水温・塩分を観測した。漁獲物は種類ごとに体長、個体数、漁獲重量を測定し、曳網距離100m当り10個体以上採集された種類を卓越種とした。

3. 研究結果

採集生物の月別・定線別の採集量と測定結果を別添資料に示した。採集された魚類の水深別の出現数と卓越種は下表のとおりであった。

月	水深 (m)			合計
	60	80	100	
4		48 オキヒイラギ	44 キダイ	63
5	34	43 オキヒイラギ	45 オキヒイラギ・キダイ	72
6	38	42 オキヒイラギ	33 キダイ	61
7	36	17	34 キダイ	54
8	31 オキヒイラギ トゲカナガシラ	42 オキヒイラギ・キダイ	38 キダイ	60
9	33	40 オキヒイラギ・ヒメジ・ トゲカナガシラ・キダイ	33 キダイ	54
10	26	40 オキヒイラギ・ヒメジ	37 オキヒイラギ	62
11	27 ダルマガレイ	42 オキヒイラギ・ヒメジ	49 オキヒイラギ	65
12	17		39 オキヒイラギ・ヒメジ	48
1	24 ダルマガレイ		41	52